

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課				
		実施期間	H4 ～	E-mail	toshi-machi @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・市町村の景観行政団体への移行を支援することにより、現在までに29の市町村が景観行政団体へ移行しているところであるが、一方で、景観行政団体数が増加するとともに、行政界により景観行政が分断され、統一感のない景観育成が懸念される。

・景観への意識の高まりにより、地域住民による新たな景観育成住民協定が締結され、現在までに176件認定しているが、人口減少や高齢化に伴い景観育成の担い手が不足しており、将来的にさらに加速していくことが予想される。

・再生可能エネルギーの推進による太陽光発電施設の建設、コロナ禍に伴う地方回帰による宅地開発などによる景観の影響が懸念されており、地域と調和した景観の保全・育成が求められる。

2 事業目的

長野県の美しい景観の保全・育成を図ることで美しく風格のある県土を形成し、快適でゆとりのある豊かな暮らしを創造する。

3 事業目的を達成するための取組

①長野県景観育成計画の改定（R5～R7）

・現行の「景観育成計画」を見直し、広域的な視点からの景観育成の仕組みづくりを行うことで、景観行政団体を含め市町村と県が相互に連携し、行政界を超えた県土全体の景観育成を推進する。

・新たな景観阻害要因に対応した景観育成基準の設定、景観育成重点地域の指定により現状に即したきめ細やかな景観誘導を図る。



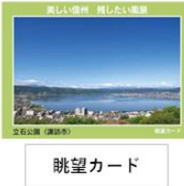
②市町村の景観行政団体移行支援

・地域主体の景観育成を促進するため、市町村の景観行政団体移行を支援していく。

③眺望点の指定推進及び眺望カードの作成

・地域にとって重要な景観を眺望できる場所を眺望点として指定し、届出制度と紐づけることにより、地域が守りたい景観を阻害しないよう誘導する。

・小中学校でのまちづくり出前講座などで眺望カードを活用することにより、景観保全に対する興味・関心を引き出し、将来の担い手としてのきっかけを創出する。



眺望カード



タイトル名称
景観の特徴
URL+QRコード

4 成果指標

（推移の凡例 ㇏：改善 ㇏：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	景観育成重点地域指定数	箇所	4	4	→	4	→	5	未達成	景観育成計画改定作業の中で重点地域に指定するべき地域を検討し、令和7年度に1地域の追加指定を目標として設定
②	景観行政団体数	市 町 村	28	29	↗	30	↗	30	達成	5年以内（令和8年度まで）に県内市町村のうちの40%が景観行政団体へ移行することを目標として設定
③	「信州ふるさとの見える（丘）」 及び「眺望点」指定数	箇所	160	160	→	160	→	165	未達成	景観育成計画改定作業の中で創設が検討されている「重要眺望点（仮称）」の指定も含め、例年の半数程度の眺望点を指定することを目標として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	4,634	0	4,634	3,959	3,702	2.8
R6年度	0	14,196	0	14,196	13,857	13,614	2.8
R5年度	0	13,523	0	13,523	13,187	12,762	2.8

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課	

7 主な取組実績と成果

①長野県景観育成計画の改定（R5～R7）

- ・景観審議会専門委員会を3回開催し、令和5年度から調査審議を進めてきた長野県景観育成計画の改定について、答申案の最終確認を行い、調査審議を終了した。
- ・景観審議会を2回開催し、専門委員会の審議結果を踏まえて長野県景観育成計画改定の方針性をとりまとめ、10月に景観審議会会長より知事へ答申を行った。
- ・広域景観アセスメント制度創設へ向けた特別眺望点の指定検討や、木曽地域の景観育成重点地域への指定検討にあたり、全市町村を対象に、広域景観エリア12区域ごとに市町村説明会（意見交換）を2回実施した。



景観審議会会長から知事への答申の様子

②市町村の景観行政団体移行支援

- ・大田市から景観行政団体への移行に係る協議を受け、スケジュールや景観計画内容に係る確認や助言等を行いながら、1月に団体への移行が完了した。

③眺望点の指定推進及び眺望カードの作成

- ・景観育成計画改定へ向けた検討が続いていることから、令和7年度は市町村からの新たな眺望点の指定照会を実施しなかった。
- ・眺望カードについて、配布先における在庫状況の確認を取りながら、10,000枚の増刷を行った。
- ・景観育成の普及啓発を図るため、眺望カードを活用した出前講座を4校の小学校で行った。また、事業者向けの県政出前講座については1事業団体で開催した。



小学校への出前講座の様子
（佐久市立平根小学校）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	景観育成重点地域指定数	R6年度推移	→	R7年度推移	→	達成状況	未達成
景観育成計画改定の検討にあたり、木曽地域の景観育成重点地域への指定検討について市町村の意見交換を3回実施し、計画の素案を取りまとめた。年度内の指定には至らなかったが、来年度、パブリックコメント等の実施を経て指定を予定している。							
指標②	景観行政団体数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
1の自治体（大田市）が、新たに景観行政団体へ移行となった。							
指標③	「信州ふるさとの見える（丘）」及び「眺望点」指定数	R6年度推移	→	R7年度推移	→	達成状況	未達成
長野県全域をカバーすることを目的に眺望点の指定を進めているが、景観行政に対して注力している市町村については概ね指定が済みであり、新規申請は減少傾向にある。令和7年度は景観育成計画改定へ向けた検討が続いていることから、市町村からの新たな眺望点の指定の照会を実施しなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
・景観育成計画の改定については、令和8年度の公布へ向けて、引き続き市町村の意見や景観法改正内容を踏まえながら調整していく。 ・市町村の景観行政団体移行支援については、市町村が計画内容の充実等に時間を割けるよう、相談に対してよりきめ細やかなサポートを行っていく必要がある。 ・眺望点の指定推進については、景観行政の重要性や制度の仕組み等に対する理解が得られていないことが課題となる。 ・眺望カードの作成については、発行したカードをより活用できるような機会を創出していく必要がある。
(2) 事業改善の方策
・景観育成計画の改定については、市町村や事業者、県民等への周知を図り、理解を深めていただけるよう広報を行っていく。 ・市町村の景観行政団体移行支援については、国の交付金等も紹介しながら、市町村の意向を早めに確認し、相談や助言等引き続き支援を行いながら、移行を推進していく。 ・眺望点の指定推進については、良好な景観を育成するために市町村と連携しながら新たな眺望点の掘り起こしを行っていく。 ・眺望カードについては、ニーズを調査しながら過去に作成したカードの増刷を行い、各建設事務所等と連携しメインターゲットとなる若い世代の景観に対する興味・関心を得られるよう活用していく。

事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
-----	---------	----	-----	-----	-----------

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	住宅総務費（景観審議会）		505 千円	722 千円	616 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県景観審議会の開催	直接	長野県景観育成計画の改定等の景観行政に関する内容についての審議 審議会開催回数：2回、専門委員会開催回数：3回		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	景観保全事業		11,791 千円	12,417 千円	2,617 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県景観育成計画改定事業	委託	長野県景観育成計画の改定へ向けたビジョン及び景観計画案の検討・作成 広域景観アセスメント制度及び特別眺望点の指定候補案の検討 木曽地域における景観育成重点地域景観計画案の検討 計画改定に向けた検討の実施、広域景観エリアごとの市町村との意見交換：26回		
2	屋外広告物講習会	直接	屋外広告業に関する法定講習会の開催 開催回数：1回		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	風景育成事業		466 千円	475 千円	469 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域景観協議会運営事業	直接	地域景観協議会による景観育成の推進 眺望カードの作成 協議会への講師の派遣：0回、カードの増刷：10,000枚		
2	景観育成住民協定認定事業	直接	住民協定の活動について随時相談受付 新たな住民協定について随時認定 相談・問い合わせ対応：2町		
3	信州の美しい景観の魅力発信事業	委託	ホームページ（ふるさと信州風景百選、信州の歴史的まちなみ）の運用保守 信州の景観に関するコンテンツによる情報発信		